観光まちづくり学部に入学する皆さんへ

國學院大學観光まちづくり学部
学部長　梅川　智也

國學院大學観光まちづくり学部への入学試験の合格おめでとうございます。教員一同、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

さて、一般選抜の受験者は、これからの時期が本番になります。推薦系入試（公募制自己推薦（AO 型)、院友子弟等特別選考、指定校制推薦、協定校推薦、系列三高校、スポーツ推薦）を経て入学する皆さんも学習意欲や緊張感を保ちながら、4 月からの大学生活に向けて準備を進めていただく必要があります。そこで、本学では、入学後の学修がスムーズになるよう、皆さんに以下の入学前学習をお願いします。以下の 1 については、受講料を別途ご納入いただくこととはなりますが、趣旨をご理解いただき、ぜひ積極的に取り組んでくださいますようお願い申し上げます。

記

【入学前学習】

1. 全学部共通講座（KOUDAIBrigde：国語・英語）講座価格 10,560 円（税込）（全員推奨）

※内容の詳細や申込方法は、別紙「全学部共通_入学前教育講座のご案内」を参照ください。

2. 読書レポート（全員必須）

① 読書レポート作成

以下の「指定図書リスト」から 2 冊を選び、各図書、章立てに沿って 2,000 字程度で要約してください。また、その図書を選んだ理由と、読後の自身の感想を 800 字程度で述べること。

なお、はじめに氏名・受験番号・図書のタイトルを必ず明記してください。

✓ 書式：「A4 用紙 1 行 40 文字×36 行」で 2 枚までに完結。

✓ 提出方法:レポートはパソコンで作成し、電子メールに添付し下記のアドレス宛に提出。

✓ 生成 AI 等を使用せず、自分自身の感想を述べてください。

✓ メール件名およびデータのファイル名は、必ず以下の例にならって記してください。

受験番号_氏名_提出 1 冊目「1」2 冊目「2」→　例）D16A99999_観光太郎_1

✓ レポート送付およびお問い合わせ先：「観光まちづくり学部 入学前学習講座担当」

kankou-adm@kokugakuin.ac.jp（メール自体にも氏名と受験番号を明記してください。）

✓ 提出締め切り：1 冊目は、2027 年 1 月 15 日必着。2 冊目は、2 月 28 日必着。

② 指定図書リスト（以下、図書名の五十音順にて記載）

※金額は参考になります。購入場所・方法によって異なる場合があります。

『歩く、見る、聞く　人びとの自然再生』宮内泰介（2017)、岩波新書、858 円

『伊勢詣と江戸の旅』金森敦子(2004)、文春新書、770 円

『ヴィジュアル版 ニッポン景観論 』アレックス・カー(2014)、集英社新書、1,320 円

『江戸の旅文化』神崎宣武(2004)、岩波新書、858 円

『江戸はこうして造られた』鈴木理生（1991)、ちくま学芸文庫、1,320 円

『街道をゆく』シリーズ 1-43 のいずれかひとつ、朝日新聞出版、500 円～900 円程度
『金沢を歩く』山出保(2014)、岩波新書、1,078 円
『共同体の基礎理論』大塚久雄(2000)、岩波現代文庫、924 円
『きよのさんと歩く大江戸道中記』金森敦子(2012)、ちくま文庫、1,045 円
『銀座になぜ超高層ビルがないのか』竹沢えり子(2013)、平凡社新書、880 円
『苦海浄土』石牟礼道子（1972)、講談社文庫、836 円
『コミュニティデザインの時代－自分たちで「まち」をつくる』山崎亮(2012)、中公新書、946 円
『コミュニティを問いなおす－つながり・都市・日本社会の未来』広井良典(2009)、ちくま新書、1,155 円
『里山資本主義－日本経済は「安心の原理」で動く』藻谷浩介・NHK 広島取材班(2013)、角川 one テーマ 21、1,100 円
『自然保護という思想』沼田真(1994)、岩波新書（新本は在庫切れの可能性あり）
『社会学への招待』ピーター・L・バーガー（2017)、ちくま学芸文庫、1,320 円
『社会的共通資本』宇沢弘文(2000)、岩波新書、1,056 円
『人口減少時代の都市－成熟型のまちづくりへ』諸富徹（2018)、中公新書、990 円
『新版日本語の作文技術』本多勝一(2015)朝日文庫、660 円
『新訳日本奥地紀行』イザベラ・バード(2013)、東洋文庫、3,520 円
『生物多様性－「私」から遺伝・生態系』本川達雄(2015)、中公新書、968 円
『地域学をはじめよう』山下祐介（2020)、岩波ジュニア新書、1,089 円
『東京都市計画物語』越澤明(2001)、ちくま学芸文庫、1,540 円
『東京の空間人類学』陣内秀信(1992)、ちくま学芸文庫、1,056 円
『都市計画の世界史』日端康雄(2008)、講談社現代新書、1,320 円
『21 世紀を生きるための社会学の教科書』ケン・プラマー（2021)、ちくま学芸文庫、1,760 円
『日本人と日本文化』司馬遼太郎、ドナルド・キーン(1996)、中公文庫、880 円
『「日本の伝統」の正体』藤井青銅（2020)、新潮文庫、649 円
『日本百名山』深田久弥(1978)、新潮文庫、990 円
『日本風景論 新装版』志賀重昂(2014)、講談社学術文庫、1,100 円
『農山村は消滅しない』小田切徳美(2014)、岩波新書、1,012 円
『ひらく美術－地域と人間のつながりを取り戻す』北川フラム(2015)、ちくま新書 902 円
『風景学入門』中村良夫(1982)、中公新書、902 円
『ベルツの日記（上）（下)』トク・ベルツ(1979)、岩波文庫、各 1,111～1,177 円
『ホモ・ルーデンス』ヨハン・ホイジンガ（1973)、中公文庫プレミアム、1320 円
『街並みの美学』芦原義信(2001)、岩波現代文庫、1650 円
『見えがくれする都市』槇文彦他（1980)、鹿島出版会、2200 円
『森の力 植物生態学者の理論と実践』宮脇昭(2013)、講談社現代新書、814 円
『逝きし世の面影』渡辺京二(2005)、平凡社ライブラリー、2,090 円
『旅行ノススメ』白幡洋三郎(1996)、中公新書、790 円
『忘れられた日本人』宮本常一(1984)、岩波文庫、990 円
『市民のなかの博物館』伊藤寿朗(1993)、吉川弘文館、2,200 円

（42 件）

◆個人用パソコン（ノート型）ご準備のお願い

本学部は、授業や学生生活の様々な場面でパソコンの活用を促進しています。1年生前期に少人数クラスに分かれて履修する必修科目の導入ゼミナールにおいてPCを使用した情報収集やレポート執筆、プレゼンテーション実施に取り組みます。

そのため、学生が個人用パソコン（ノート型）を必携する方針を掲げています。家計へのご負担をおかけすることになりますが、本学の教育方針をご理解いただき、ご入学に際しては、パソコンをご準備くださいますようお願いいたします。

新たにパソコン（ノート型）を購入する際には、下記【推奨するスペック・OS】をご参照ください。既にお持ちのパソコンやタブレットを利用する場合は、授業で課されるレポートやプレゼンテーションに取り組むために必要なMicrosoft Officeが利用できるかご確認ください。

なお、本学学生は、Microsoft Officeを無料でインストール（在学期間中）できますので、Officeが利用できる機種であれば別途Officeを購入する必要はありません。

【スペック・OS(最低・推奨)】

・CPU　Intel Core i5-11世代以降、またはAMD Ryzen5- 4世代以降(最低)

・メモリ　8GB(最低) / 16GB以上(推奨)

・SSD容量　256GB(最低) / 512GB以上(推奨)

・オペレーティングシステム（OS）　Windows10または11（英語または日本語版）(推奨)

※ macOS等の他のOSは教員のサポートが期待できない場合や一部ソフトが動かない場合があります。

※國學院大學生協で上記スペックのPCを販売する予定です。詳しくは、國學院大學生協HPをご確認ください。